

編集後記

(62巻 第8号 2016年8月)

シンガポールで行われたアジア泌尿器科学会の年次集会に参加してきた。アジア泌尿器科学会(UAA)は1990年に日本主導で作られた。最初は11カ国で始まった UAA だが、徐々に参加国が増加し、昨年からはエミレーツ泌尿器科学会とトルコ泌尿器科学会が、今年からはバーレーンとクウェートが加わり計24、準参加国であるオーストラリア・ニュージーランドを入れると計25の国または地域が所属する大所帯となった。

参加国が多くなることは良いことだが、それによって少なからず利害衝突が起こることもある。お国柄だとは思いますが、中国やインド以西の国々は自己主張が強い。日本は良い意味でおしとやかなのだが、これからは少しずつ存在感を出していく必要があるように感じている。2年後の2018年のアジア泌尿器科学会は、日本泌尿器科学会総会との同時開催で、京都で行う予定となっている。日本の存在感をもう一度示す良い機会だと思うので、多くの先生に参加していただき京都の会議を盛り上げてほしい。

ちなみに、来年のアジア泌尿器科学会は8月に香港で開催され、京都での開催を挟んで、2019年はマレーシア、2020年は韓国で開催される予定となっている。

(小川 修)